

平成 30 年度	福祉部の取り組み実績
	<部の構成> 福祉総務課、生活福祉室、障害福祉室、福祉指導監査課

1. 重点施策・事業

(1) 地域福祉の推進	
方向性	あらゆる世代の人が健やかに生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めるために、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備、不足する地域福祉活動の担い手の育成支援など、地域福祉の推進に取り組みます。
取り組み	枚方市地域福祉計画（第3期）に基づき、民生委員・児童委員や社会福祉協議会といった関係機関等とも連携しながら、地域福祉課題の把握に向けた取り組みに努めるとともに、計画の進行管理を行います。 <<目標値>> コミュニティソーシャルワーカー（CSW）延べ相談件数：9,016件
実績	「枚方市地域福祉計画（第3期）」の進行管理の一環として、地域福祉にかかるセミナーを枚方市社会福祉協議会等との連携・協力のもと、平成31年1月に開催しました。また、コミュニティソーシャルワーカー事業においては、出張相談会の開催など、アウトリーチを基本とした相談支援体制の充実に引き続き取り組み、延べ12,144件の相談に対応しました。 平成30年度決算：31,260千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(2) 生活困窮者の家計相談支援	
方向性	相談者と共に家計の状況や課題を整理し、生活の再生に向けた意欲を引き出した上、必要な助言や情報提供を行うことで、相談者の家計管理の能力を高め、早期の生活再建に向けた支援を行います。
取り組み	ファイナンシャルプランナー等の資格を有する家計相談支援員1名を生活福祉室内自立相談支援センターに配置し、相談者に寄り添った支援を毎月2回、午後から予約制にて実施します。 <<目標値>> 支援対象者10名 平成30年度当初予算：402千円

実績	4月より家計相談支援員1名を自立相談支援センターに配置し、相談者に寄り添った支援を毎月2回、開催することにより合計13名の参加がありました。	
	平成30年度決算：236千円	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

(3) 枚方市障害福祉計画(第5期)・枚方市障害児福祉計画(第1期)に基づく障害者施策の推進		
方向性	平成30年3月に策定した枚方市障害福祉計画(第5期)や枚方市障害児福祉計画(第1期)に基づき、障害者の自立支援及び社会参加に係る取り組みや、障害児へのサービス提供体制の整備といった、障害者施策のさらなる推進に努めます。	
取り組み	<p>計画に定めた障害福祉サービスの見込み量や整備の方向について、進捗管理や状況把握に努めるとともに、成果目標として設定している「地域生活支援拠点の整備」や「障害者の就労支援策」及び「医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置」などについて、検討していきます。</p> <p>《目標値》</p> <p>福祉施設から一般就労への移行者数 66名(令和2年度(2020年度))</p>	
実績	<p>「地域生活支援拠点の整備」については、令和2年度(2020年度)の実施に向け検討を行っています。</p> <p>「障害者の就労支援策」については、就労支援強化事業を一部見直し、一般就労を希望する障害者を対象とした研修を令和元年度に実施することとしました。</p> <p>また、障害者福祉施設等が提供している授産製品や役務などを掲載したカタログを令和元年度に改訂することとしました。なお、福祉施設から一般就労への移行者数については平成30年度暫定値で46名です。</p> <p>「医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場」を設置、令和元年度より実質稼働予定です。</p> <p>平成30年度決算：4,986千円</p>	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(4) 法令等の改正への的確な対応	
方向性	平成30年度の大規模な介護保険及び障害福祉サービスの省令改正及び報酬改定に対する的確に対応するとともに、サービス毎の集団指導等の実施により、事業者への情報発信に取り組みます。また、新たな制度内容を指導監督業務に反映させ、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制の確保につなげることで、福祉サービスの質の向上を図ります。

<p>取り組み</p>	<p>介護保険サービス及び障害福祉サービスにおける新たな基準については、指導監査業務等に反映し、事業者の適切なサービス提供につなげます。</p> <p>介護保険・障害福祉サービス事業の報酬改定等に的確に対応するため、国等への情報収集力を高めます。</p> <p>平成 29 年度に実施された社会福祉法人制度の大幅改正については、引き続き実地監査において周知に努めます。</p> <p>平成 31 年度から法改正により、障害児通所支援事業所（放課後等デイサービス、児童発達支援、保育所等訪問支援）の指定及び業務管理の権限委譲が実施されるため、それに向けた情報収集と準備に努めます。</p>
<p>実績</p>	<p>介護保険・障害福祉サービス事業者集団指導等を開催し、各サービスにおける指定基準の改正や報酬改定などについて情報提供をし、円滑な事務処理を行いました。</p> <p>また、実地指導や指定業務を通じて個別にも指導・助言を行いました。</p> <p>社会福祉法人に対しては、実地監査や説明会において引き続き社会福祉法人制度の改正内容について周知を行いました。</p> <p>令和元年度より実施する障害児通所支援事業所の指定・指導については、大阪府が実施する説明会への出席や他中核市との情報交換など、情報収集及び準備を進めました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
<p>14. 外郭団体等の経営健全化の促進</p>	<p>外郭団体等経営評価員の指摘等を受け策定した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に沿った取り組みを行うとともに、枚方市社会福祉協議会が策定した経営戦略プログラムの進捗管理等により、経営健全化の促進に向けた連携・協力に取り組めます。</p>
<p>実績</p>	<p>同協議会への委託事業（随意契約分）で今年度から新たに導入した、事業途中での点検や検証を行う中間評価に取り組めました。</p>
<p>取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】</p>	

改革課題	取り組み内容・目標
23. くすの木園のあり方の検討	平成 32 年 4 月の民営化に向けて、運営法人の選定を行います。
実績	くすの木園の民営化に向け、平成 30 年 7 月 24 日に第 1 回枚方市立くすの木園民営化法人選定審査会を開催し、9 月 10 日から 9 月 21 日まで運営法人の公募を行います。応募法人がありませんでした。そのため、11 月 20 日に第 2 回選定審査会を開催し、募集要項の見直しを行い、平成 31 年 1 月より再公募を行いました。応募法人はありませんでした。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートの実施や窓口マニュアルの活用により、市民満足度の向上に努めます。また、障害福祉室で作成した「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害のある市民への適切な対応に努めます。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口マニュアルを活用し、窓口対応の向上を図るとともに、職員同士の役割分担の明確化や連携を強化することで、業務の精度を上げ、窓口での待ち時間の短縮に努めました。 ・「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害者に対して適切な対応に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ペーパーレス化の徹底	市民からの各種相談対応からサービスの提供まで、福祉制度に関する広範囲な業務を実施しており、各業務に係る印刷物も膨大となりがちであることから、両面・冊子印刷やメール機能、紙の電子化等の活用により、部内全体でのペーパーレス化を徹底します。
実績	ペーパーレス会議の取組のほか、帳票類の不必要な部数の印刷や据置きをせずに必要に応じて打ち出すなど、紙の省力化に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
指導監査業務の標準化	福祉制度に関する情報収集に取り組みながら、業務マニュアルの見直しや、職員間での情報の共有化を定期的に行います。
実績	国・府からの法改正等の通知を把握した上で、実地指導業務等のチェックリストを見直し、職員間での情報共有を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆生活保護費や障害福祉サービスなど社会保障関連経費の増加が予想される中、事業の精査を行い、必要な財源の確保に努めながら予算編成を行いました。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者等にかかる扶助費 132 億 452 万 6,367 円の支出に対する財源として、生活保護費等国庫負担金 99 億 565 万 9,000 円を確保しました。 ・自立支援給付、障害児通所給付等にかかる扶助費 94 億 374 万 8,334 円の支出に対する財源として、自立支援給付費国庫負担金等 67 億 5,640 万 17 円を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆昨年度に引き続き、生活保護の実施体制等の強化を図るための「生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」等の国庫補助金を活用するなど、必要な財源確保に努めました。

実績	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金や生活保護適正化等事業費補助金を活用し、4,408 万 1,000 円の財源を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆介護保険事業者の指定等に係る手数料を徴収することで、適切な財源確保に努めます。

実績	新規申請 60 件、更新申請 68 件、合計 128 件の申請があり、申請手数料として、総額 262 万 5,000 円の収入を得ました。また、未収金は無く、すべて徴収することができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆職場の課題や懸案事項等については、グループ単位や担当間の会議、職場での朝礼等を通じて職員間での情報共有を図り、その解決等に向けて組織的に取り組みます。

実績	・職場の課題や懸案事項は、朝礼やグループまたはチームごとのミーティングを適時開催し、その解決などにつなげました。
----	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉室では、毎日の朝礼・毎週の管理職による会議、また、毎月各グループで行う会議により、情報共有を図り、組織的に問題解決に取り組みました。 ・生活福祉室では、監督者会議、査察指導員会議及び全体会議をそれぞれ月2回開催し、生活保護業務に関する課題や対応策等の共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆人材育成として、専門性の高い知識や経験が求められる業務を中心に職場内・職場間研修に取り組むほか、職場外の専門研修へ職員を派遣するなど、知識の習得や技術の向上を図ります。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で窓口対応研修を開催したほか、職場外での法・制度改正等に関する会議・研修会などに積極的に参加することにより、国・府・他市との情報交換・情報共有を行い、知識の習得や技術の向上に努めました。 ・生活保護業務に従事する査察指導員（SV）及び地区担当員（CW）を全国研修会に派遣し、スキルの向上に努めるとともに、全国の自治体職員との情報共有を図りました。また、職員の技能向上・育成を目的として、全体研修、育成研修及び新任研修を実施しました。さらに、生活困窮者自立支援制度に従事する相談支援員を大阪府が主催する従事者研修等に派遣し、スキルの向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆法・制度改正などに的確に対応し、指導監査等の精度を適正に確保するため、他の行政機関との連携による制度研修や事例研究などを通じ、情報共有と指導レベルの標準化を進めます。

実績	<p>各市町村で生じた困難事例や国に対して行った疑義照会を市町村連絡協議会で情報共有し、他市との指導レベルの標準化を進めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆広報ひらかた、市のホームページ、エフエムひらかた及びリーフレット等様々な媒体を活用しながら情報を発信します。また、即時性が求められる緊急情報や制度改正などについては、ホームページの特性を生かし、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ひらかた、市のホームページなどで、各種の事業やイベント、また「大阪北部を震源とする地震義援金」に関する周知などの情報発信を行いました。 ・生活福祉室では、平成30年度の制度改正に併せて生活保護受給者に対して必要な情報の提供に努めました。また熱中症予防の観点から高齢者対象に注意喚起のリーフレットも配布しました。 ・自立相談支援センターでは、生活困窮者自立支援制度における任意事業のひとつである家計改善支援事業の開始に伴い、特集を広報ひらかた5月号に掲載しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆昨今のスマートフォンやタブレットの普及に鑑み、市からお知らせする文書やパンフレットに QR コードを掲載するなど、福祉に関する情報を身近に接することのできる環境の整備に努めます。

実績	障害者手帳を交付する際に配布する「福祉のてびき」に本市ホームページ内の窓口説明のページにアクセスできる QR コードを掲載しています。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

- ◆障害福祉室では、障害者差別解消のためのイベントや、出前講座を活用した地域への周知活動などを通じて、市民意識の啓発・向上に努めます。

実績	「障害のある人への差別をなくそう！」などのパンフレットを障害福祉室、各支所、相談支援センターなどで引き続き配布しました。また、障害差別に関する講演会などのイベントを「ほっこりひらかた 2018」で開催する等地域への周知活動を行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】